

くろす 黒須としたか

活動レポート
田園海浜文化都市宣言
CROSS通信第67号



無所属47歳

事務所:大網白里市大網33-8サンモア内(トップマート近く、まちサポ向かい)
電話 0475-73-4126(ナミヨイフロ) 自宅電話 0475-73-8615 FAX 0475-70-2666
http://www.geocities.jp/ooamicross/ Eメール:ooamicross@ybb.ne.jp

市民の力がこのまちの未来をつくる

後退した子育て支援

4年前、金坂市長は、子育て支援を公約の目玉にして市長に当選しました。しかし、就任後最初の予算で出産支援金を縮小し、さらに翌年にはすべて打ち切る予算案を出してきました。これに対して、黒須が予算修正動議を出し、出産支援事業は継続させました。

中学3年生までの医療費無料化という公約は、就任後3年間は実施せず、今年になって、選挙直前の8月から始める予算案をようやく出してきました。黒須は4月から始めるように再三金坂市長に求めましたが頑なに拒否されました。黒須はこの予算案も予算修正動議を出し、多くの議員も黒須に賛成し、金坂市長の出した当初予算案は否決されました。金坂市長のあまりに遅い対応に議会は「ノー」をつきつけたのです。それでも金坂市長に期待した当時の小学6年生と中学生は皆卒業して、医療費助成を受けられませんでした。

市制施行後の増税

公約に市制施行を掲げていました。市制施行は堀内前町長が準備され、人口以外の要件は既に達成されており、市制施行が最大の公約

実現というのにはあきれません。また、市政施行で税金は上げないと再三にわたり説明していたにもかかわらず国民健康保険税を増税したのは完全に約束違反です。

幹部職員の大量離脱

昨年から今年にかけて1人の課長自殺と6人の課長早期退職、1人の課長の過労死(病死)が続きました。職員のメンタルヘルスクエアができていないことが浮き彫りになりました。

この病死以外の7人の課長の退職による人材補強の必要性は1年前からわかっていました。実際に新設ポストに県の課長を向出させていたにもかかわらずその人件費は当初予算に織り込まず、9月議会に修正しました。この手法は議会軽視で、財政規律に反します。

私は、このように大きく損なわれた行政に対する信頼を一刻も早く取り戻さなければいけないと思っています。

成熟社会のまちづくり

日本は本格的な人口減少社会に突入しました。大網白里市も、二〇一〇年に5万人を超えた人口が、金坂市長就任以来減り続け、常住人口は一

〇月一日現在では49522人となつています。人口は行政に対する「足による投票」と言われますが、この点では、金坂市政に対する住民の評価は「ノー」ということです。

しかし、本質的な問題は、相変わらずの成長・発展・拡大という成長神話から脱却できないままに自治体経営をしていることです。これまでの延長線上に私たちのしあわせな未来を描くことは難しくなつてきています。その現実を冷静に見据えることが大切です。人口減少社会では、競争よりも支え合い、成長よりも成熟、地域循環型の経済こそが必要という認識が不可欠です。

みんなが輝くまちづくり

成長によって得られた「豊かさ」がある一方で、成長のために失われた「豊かさ」もあります。私たちは、これまでどれほど大切な時間を、どれほど大切な友人を失ってきたでしょうか。GDPは世界第3位でも、日々の生活や将来の老後に不安を抱く人が多いのは、政策が貧困だからです。地方自治体の責務は「住民の福祉の増進」です。私はその責任を全うするために、みんなが輝くまちづくりを進めま

す。地域に住んでいる人々が

優しさを分け与え合いながら支え合えば、誰もがしあわせを感じることもできる「みんなが輝くまちづくり」は可能だと信じます。未来のために現在を犠牲にするのではなく、未来のためにこそ、今生きている誰もが輝く必要があるのです。

市民が主役のまちづくり

国は「地方創生」を政策の大きな柱としています。しかし、地方創生の知恵は霞ヶ関にはなく私たちの暮らす地域にこそあるはず。地方創生は他人事としてではなく自分事として住民自身が担って行かなければなりません。何もしなければ、何れ限界市町村になりかねません。この「危機感」を、子どもたちの未来に対する「責任感」とともに、住民一人ひとりが共有する必要があると信じています。

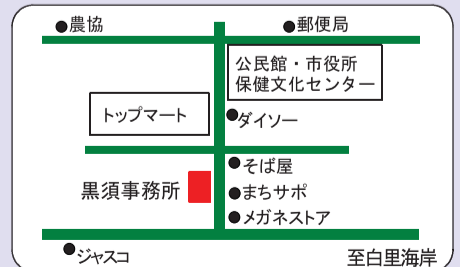
もうひとつの未来へ

今回の挑戦は3回目となります。3年前の議員選挙では3連続のトップ当選をさせて頂きました。もう一度、私たちの未来にもう一つの選択肢を提示することが、私を後押ししてくれた皆さんの願いであり、私にとっての使命であると確信しています。

みんなでまちの未来図をつくろう

黒須としたかは、皆さんと対話をしながらマニフェストをつくりたい。ぜひ事務所にお越し下さい。ファクシミリやメールでの御意見もお待ちしています。

マニフェストをつくる集い
11月16日(日)午後2時から



事務所ボランティアを募集しています。

黒須としたか・プロフィール
1967(S42)年1月16日生まれ。
大網小・大網中卒業、長生高卒業、千葉大学法経学部卒業
会社員・印刷店経営を経て、
2003年町議会議員初当選
2007年トップ当選
2010年町長選挙立候補
2011年連続トップ当選
家族: 両親 妻 息子(11歳・8歳)
趣味: 登山・料理・読書



みんなで未来をつくろう!

●房総スローライフ紀行⑥

シュノーケルで造礁サンゴも見られる無人島
沖ノ島(おきのしま・館山市)

館山湾南端の周囲1キロほどの無人の島。関東大震災の隆起でつながっているため駐車場から歩いて渡れる。富津館山道路終点から車で15分。大網白里からでも2時間かからない。



※スローライフ：文化、生活全般に「ゆっくりゆったり」を取り入れて、豊かさを見直していくスタイル。これに大きく影響を与えたのが、イタリアから始まったスローフード運動。次の三つを掲げる。①伝統的な食材や料理、質の良い食品を守る。②質の良い素材を提供する小生産者を守る。③子供達に味の教育を行う。



房総半島南端館山市の館山湾南端に無人島沖ノ島がある。夏は海水浴場として賑わっている。この無人島には日本最北の造礁サンゴが生息している。2メートル位潜ればかなり立派なサンゴ礁が観察できる。ウェットスーツを着て潜れば、今の時期の方が海水の透明度が良いし、南から流れてきた熱帯性のカラフルな魚も見られる(海水温は冬より春の方が冷たい)。

この夏、小学生になった子ども達と初めてシュノーケリングをした。子ども達には私の古いウェットスーツの手足をハサミで切って着させ、その上からライフジャケットをつけて浮かせた。初めての水中眼鏡をつけた神秘の世界にとっても感動をしていた。

夏の終わりの満月にはサンゴの産卵も確認されている。ゲームやテレビから離れて自然の中でゆったりした時間を過ごし、地元のスローフードを食したい。

興味のある方は、黒須が機材込みでご案内します。

黒須としたかの2014年議会質問から

黒須の質問	市執行部の答弁
Q 図書館の貸出冊数(6冊)をもっと増やすべきではないか	A 6冊で足りると考えている。(→市は、いつのまにか10冊に増やした)
Q 日本創成会議の推計値、2040年に本市の若年女性が今の43%に減るといふ予測をどのように考えるか	A 消滅可能性都市にならないように子育て支援や住環境整備に努力したい。
Q 大網病院は市民病院であるにもかかわらずなぜジェネリック医薬品を処方しないのか	A 今後はできるだけジェネリック医薬品の処方をすすめていきたい。
Q 台風時などに聞こえづらい防災無線には戸別受信機を積極的に活用させてはどうか	A 現在デジタル化を進めており、積極的に活用したい。
Q 原爆被爆と戦時下の郷土資料展を縮小した理由は	A 3年に1度の特別企画展の開催の影響で縮小した。
Q 千葉県が摘発した談合企業の本市における落札率は	A 平均落札率より高くなっている。
Q 圏央道の経済効果はどう判断するのか	A データがないから答えられない。
Q 市長は公約の達成度を検証しないのか	A 具体的な数値で答えられない。

駅前公衆トイレ改築は必要?

金坂市長は、市の貯金(財政調整基金)を取り崩して駅前に公衆トイレを新設する。建設費だけでも3400万円以上する。多くの議員も選挙目当てのハコモノ建設だと言っている。

今のトイレはかつては暗く、汚いトイレだった。しかし今では市民と行政の協働事業によりとてもきれいになっている。行政がこの事実を知らないはずがない。

課題はバリアフリーでないことと、女性が利用しにくいことなどだが、駅ショッピングセンターのトイレを早朝深夜も使えるようにすれば全く問題ない。

駅前の貴重なスペースには観光案内施設や市の出張所、保育所の一時預かり所など欲しい施設がいくつもある。市民の皆さんもそう思いませんか。

市長最大の実績は市制施行?びっくり!

市長が一生懸命4年間の実績をうたっている。なかでも金坂市長最大の実績は市制施行だそう。議員や職員らはびっくりだ。何しろ市制施行は7年前の国勢調査の段階で前町長の堀内さんが準備をすすめて、今の副市長の古山企画政策課長が担当責任者だった。人口要件以外ほぼ整っていると町当局は言っていた。ところが5万人いかなかったから2年前にずれただけだ。

そういえば市制施行の住民説明会で市制施行しても税金は高くないと金坂市長は何度も言っていたのに国民健康保険税が増税されたのは本当にびっくりだった。

黒須は保険税を保険料に戻したらどうかと提案したことがあるが、黒須の言うことを聞いていけば約束違反と言われることもなかったと今更ながら反省しても遅すぎる。反省だけなら誰でもできる。

あれこれ

▼市長選挙が12月21日にあるので次の議会がいつもより早く17日から始まります。

金坂市長はもうすでに大網駅前立って挨拶をしているようです。公約達成度の検証結果を市民に早く説明してもらいたい。

▼今の時期、来年度予算編成に向けた作業が行われています。お隣の千葉市では予算編成過程が公開されています。黒須の提案で決算委員会が前倒しされ、決算審議での議会からの指摘は反映されるようになりましたが、編成過程も市民に公開し、2月の予算審議が形式的なもので終わらないようにしなければなりません。

CROSS CAFE がOPENします

人とまちの交差点



11月16日(日) 午後1時~

12月20日(土)まで開設 午前10時~午後7時
大網33-8サンモア内(まちサポの正面)

電話:73-4126